

シーズンに、赤や黄色の葉の美しさを慈しみながら、石の中のガーネットやトルマリンを探してみても楽しいですよ。

上質な石材「幡豆石」

そして、上質な石材として有名な幡豆石。中部地方を中心に、港湾や河川の堤防などの石材として使用されています。実際、川や海に遊びに行くと、さまざまな場所で幡豆石を見かけます。特徴のあるその模様から、すぐ「幡豆石だ!」とわかります。



▲幡豆石はいろいろな場所で活躍しています。

先日、散歩に出かけた川の土手に幡豆石が積まれており、水遊びそつちのけで石に見入ってしまいました。もしかしたら水晶が入っているかも?!と思ったからです。幡豆石は結晶が大きく、所々に大きな石英の脈も入っています。もしかしたら運良く、晶洞(しようど

う)の中に成長した小さな水晶に出会えるかも知れません。

ほかにも、額田の紅柱石やしのぶ石、三河一带に多く見られる御影石など、蒲郡周辺にはさまざまな石が見られます。

石ころは大地の絵本

それにしても、石って何でしょう? ある国語辞典には、「岩石のう

ち、割合に小さいもの。砂ほど小さくなく岩ほど大きくない」とあります。では、「岩石」というと、「地殻を形作る物質。そのかたまり。一種または数種の鉱物が集まってできている」とあります。つまり、鉱物がたくさん寄せ集まったものが岩石であり、石なのです。

そして鉱物は、分子や原子が規則正しく積み重なってできたものです。原子や分子の種類や積み重なり方によって、鉱物の色や形はさまざまに変化します。原子や分子の並びかたは、鉱物が造られるときの温度や圧力などの条件によって決まります。石の中の鉱物の組み合わせや形、大きさなどが、その石がどのように生み出され、どのように造られたのかを物

語っているのです。

例えて言えば、岩石は、大地の歴史を描いた絵本のようなものなのです。そのかけらである石ころは、破りとられた絵本の1ページ。そこに、どんな歴史が描かれているのかを読み解く手段が、科学ということなのです。

たかが石、されど石

蒲郡市周辺の岩石は、歴史が複雑で、実は私もまだまだ勉強中です。地元の岩石に詳しい中学校の先生や、専門家の方々にご指導頂き、少しずつ勉強しています。

生命の海科学館に展示されている、さまざまな国や地域から集められた貴重なイン石や岩石と、私たちの身の回りにある岩石は、同じ絵本の異なったページという形でつながっています。描かれているのは「地球の歴史」、読み解く手段はいずれも「科学」なのです。そう考えると、足もとの石も、ロマンチックなものに思えてきませんか?

生命の海科学館 学芸員 山中 敦子
私有地や公有地に勝手に侵入・採集するのは違法です。散歩道や公園の石も、取ったり傷つけたりしないで、そっと鑑賞してくださいね。

イベントのお知らせです

第2回「池のほとりコンサート」

ご好評につき、「池のほとりコンサート」の第二弾を開催します。科学館中庭の池の周りのテラスで、生演奏のコンサートを楽しみませんか。申し込み不要です。お気軽にお越しください。

とき 10月13日(祝)

午後6時30分~8時(予定)

ところ 蒲郡情報ネットワークセンター・生命の海科学館
屋外テラス

(雨天の場合はミュージアム・シアターにて開催)

第22回「夜の科学館をさんぽ」

「夜の科学館をさんぽ」は、科学の好きな大人のための夜のイベントです。第22回は、「カンブリア紀の海をさんぽ」と題し、アノマロカリスなどカンブリア紀の動物たちの最新情報をご紹介します。

とき 11月15日(土)午後7時30分~8時30分

ところ 蒲郡情報ネットワークセンター・生命の海科学館

定員 25人(申し込み順)

参加費 無料

申し込み 参加者の氏名・年令・住所・電話番号を電話、ファクス、Eメールで生命の海科学館へ。

生命の海科学館

☎66・1717 Fax66・1817

Eメール info@nrc.gamagori.aichi.jp